

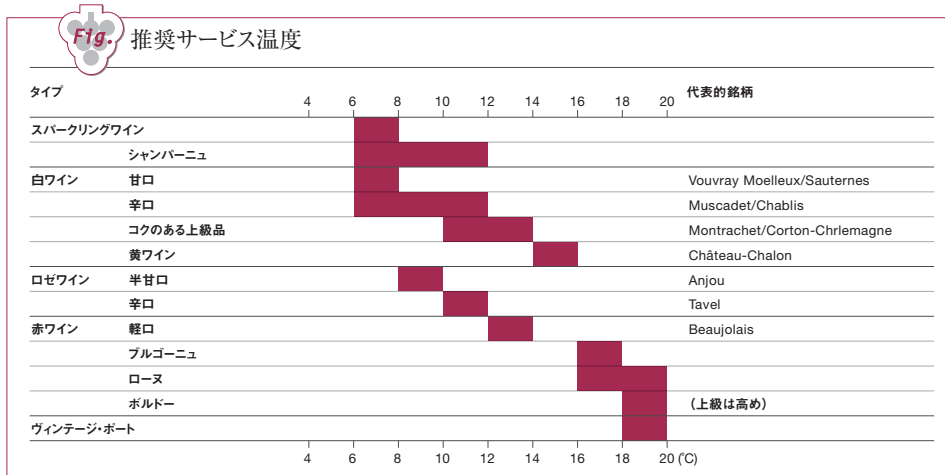
ページ	訂正箇所のタイトル、見出し	訂正前	訂正後	備考
36	20th day スペイン 「ポイントチェック」5つ目の項目	「……熟成表示4タイプの名称と… …」	「……熟成表示3タイプの名称と… …」	
56	Study1-1 統計データ詳細 「世界のワイン生産量」	約2億9,800万hℓ	約2億8,200万hℓ	2009年版ソムリエ教本更新データ(O.I.V.調べ、2005年のデータ)
56	Study1-1 統計データ詳細 「国別ワインの生産量順位」	1位フランス 約5,700万hℓ 2位イタリア 約5,300万hℓ	1位イタリア 約5,400万hℓ 2位フランス 約5,200万hℓ	同上
56	Study1-1 統計データ詳細 「国別ひとり当たりのワイン消費量1 ～3位」	1位ルクセンブルク 57.3ℓ/人 2位フランス 3位イタリア	1位フランス 54.6ℓ/年 2位ルクセンブルク 3位ポルトガル	同上
72	Study4-1 概要 「年間ワイン生産量」	約5,300万hℓ 世界第1位	約5,300万hℓ	2006年データで順位は未確認のため、順位は削除。
72	Study4-1 概要 「栽培面積」	約83万ha 世界第3位	約83万ha	2006年データで順位は未確認のため、順位は削除。
82	Study5-11 ボルドー全域のアペラシオン 表 「ボルドー・シュペリユール」の生産可能色	赤、白	赤、白(半甘)	白の部分は●ではなく、半甘(白は半甘口のみ生産可能)
85	Study6-2 メドック地区/60シャトーのA.O.C.分布 A.C.マルゴーの「マルゴー(コミュニティ)」のシャトー数	1級:0、2級:4、3級:4、4級:1、5級:0	1級:1、2級:4、3級:3、4級:1、5級:0	
85	Study6-2 メドック地区/60シャトーのA.O.C.分布 A.C.マルゴーのカントナック(コミュニティ)のシャトー数	1級:0、2級:1、3級:5、4級:2、5級:0	1級:0、2級:1、3級:6、4級:2、5級:0	
87	ボルドー格付け/メドック2 A.C.Margaux3級「シャトー・デミライユ」のコミュニティ	Margaux	Cantenac	
97	Study7-8 ボージョレ地区のアペラシオン 表 「ボージョレ・シュペリユール」の生産可能色	赤、白、ロゼ	赤	白の●とロゼの●削除(赤のみ生産可能)
97	Study11-4 メリディオナル(南部地区)のアペラシオン 表 上から2行目	Côte du Rhône Villages/Côte du Rhône + Commune コート・デュ・ローヌ・ヴィラージュ/コート・デュ・ローヌ+コミュニティ	Côtes du Rhône Villages/Côtes du Rhône Village + Commune コート・デュ・ローヌ・ヴィラージュ/コート・デュ・ローヌ・ヴィラージュ+コミュニティ	
130	Study13-3 アルザス地方料理と、それに合わせるワイン 表 チーズの「マンステール」に合わせるワイン	Alsace Gewürztraminer	Gewürztraminer V.T.	
142	Study15-3 スティールワインのアペラシオン 「ラングドック」3つ目の項目、2つめのAC名	AC コート・デュ・ラングドック	AC ラングドック	
145	Study16-1 概要 「栽培面積」	約9.9万ha	約10万ha	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
145	Study16-1 概要 「年間生産量」	約916万hℓ 辛口約60%、甘口約40%	約1036万hℓ 辛口約62%、甘口約38%	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
145	Study16-1 概要 ※印部分	※全生産量の96.4%がV.Q.P.R.D。	※全生産量の94.4%がV.Q.P.R.D。	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
145	Study16-2 代表的なブドウ品種/ドイツの主要栽培品種 表 白ブドウ 1位リースリングの割合	約20%	約21%	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
145	Study16-2 代表的なブドウ品種/ドイツの主要栽培品種 表 白ブドウ4位と5位	4位 ケルナー 5位 グラウブルグンダー	4位 グラウブルグンダー 5位 ケルナー	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
145	Study16-2 代表的なブドウ品種/ドイツの主要栽培品種 表 黒ブドウ1位「シュペートブルグンダー」の割合	約11%	約12%	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
155	Study17-3 ドイツの著名な名産地 Rheingau「ヨハニスベルク」地区のハッテンハイム村の入る位置	—	1行下の「シュタインベルク」畑の横に移動	レンヒェンはエストリッヒ村に位置します。

ページ	訂正箇所のタイトル、見出し	訂正前	訂正後	備考
160	Study18-1 概要 「ブドウ栽培面積」	約85万ha	約84万ha	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
160	Study18-1 概要 「ブドウ生産量」	約870万t	約855万t	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
160	Study18-1 概要 「ワイン生産量」	約5,300万hℓ	約5,400万hℓ	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
160	Study18-1 概要 「ワイン生産量上位5州」	1位ヴェネト州 2位プーリア州 3位エミリア・ロマーニャ州 4位シチリア州 5位アブルッツォ州	1位プーリア州 2位シチリア州 3位ヴェネト州 4位エミリア・ロマーニャ州 5位アブルッツォ州	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
163	Study18-5 ブドウ品種 解説文1行目	「……ワイン用の葡萄として402種類もの品種が登録……」	「……ワイン用の葡萄として415種類もの品種が登録……」	2009年版ソムリエ教本更新データ(2008年10月末現在のデータ)
166	Study18-7 生産量上位V.Q.P.R.D. アイテム	1位キャンティ 2位モンテプルチアーノ・ダブルツォ 3位アスティ 4位ソアーヴェ 5位オルトレポ・パヴェーゼ	1位モンテプルチアーノ・ダブルツォ 2位キャンティ 3位トレンティーノ 4位ソアーヴェ 5位アスティ	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
166	Study18-8 V.Q.P.R.D.のスティル ワインにおける味わい表示 最終行	カネッリーノ	カネッリーノ	
168	Study19-1 D.O.C.G.一覧 「ドルチェット・ディ・ドリアーニ・スペ リオーレ/ドリアーニ」の昇格年	2006	2005	
171	Study19-2 ロンバルディアの「地方 料理と合わせるワイン」表 1行目の料理名	Brasaola ブラザオーラ	Bresaola ブレザオーラ	
174	Study19-2 ウンブリアの地方料理 と合わせるワインの表 「山鳩の焙り焼き」に合わせるワイン	Torgiano Rosso Riserva	Montefalco Sagrantino	ワインの上下の行を入れ替え。
174	Study19-2 ウンブリアの地方料理 と合わせるワインの表 「仔豚の丸焼きウイキョウ風味」に 合わせるワイン	Montefalco Sagrantino	Torgiano Rosso	また、Torgiano Rosso RiservaのRiservaを削 除。
178	Study19-3 その他、いろいろなワイ ン/スプマンテの甘辛度 「ドルチェ」の残糖	50g/ℓ	50g/ℓ以上	
179	Study19-3 その他、いろいろなワイ ン/ワイン・サント 解説文冒頭	陰干したブドウから造った甘ロワイ ンを樽に入れ、産膜酵母をつけて 熟成させたデザートワイン。	陰干したブドウから造ったワインを 樽に入れ、熟成したもの。産膜酵母 がつく場合もあり、味わいのタイプ は甘口、中甘口、辛口。	
179	Study19-3 その他、いろいろなワイ ン/陰干しブドウを用いたワイン 「ヴァン・サント」解説文冒頭	陰干したブドウから造られた甘ロ ワインを樽に入れ、産膜酵母をつ けて、熟成させたもの。	陰干したブドウから造ったワインを 樽に入れ、熟成したもの。産膜酵母 がつく場合もあり、味わいのタイプ は甘口、中甘口、辛口。	
182	Study20-1 概要 「ブドウ栽培面積」	約120万ha 世界第1位	約111万ha 世界第1位	2009年版ソムリエ教本更新データ(2006年のデータ)
182	Study20-1 概要 「ワイン生産量」	約4,300万hℓ 世界第3位	約3,900万hℓ 世界第3位	2009年版ソムリエ教本更新データ(2006年のデータ)
182	Study20-1 概要 「主なブドウ品種」黒ブドウの栽培面 積順位	1位ガルナッチャ・ティンタ 2位カリニエナ 3位グラシアーノ 4位テンブラニーリョ	栽培面積1位はガルナッチャ・ティン タ。主要品種として、カリニエナ、グラ シアーノ、テンブラニーリョ。	ガルナッチャ・ティンタ以 外のブドウは、栽培面積 順ではありませんでしたが、スペインの黒ブドウ 品種として重要なもので す。
182	Study20-1 概要 「主なブドウ品種」白ブドウの栽培面 積順位	1位アイレン 2位パロミノ 3位ペドロ・ヒメネス 4位ヴェルデホ 5位マカベオ	栽培面積1位はアイレン。主要品種 として、パロミノ、ペドロ・ヒメネス、 ヴェルデホ、マカベオ。	アイレン以外のブドウ は、栽培面積順ではあり ませんが、スペインの白ブドウ品種として 重要なものです。
184	Study20-3 熟成規定 解説文4行目	「……熟成期間に応じて、4段階の 名称を表示することができます… …」	「……熟成期間に応じて、3段階の 名称を表示することができます… …」	クリアンサ、レセルバ、グ ラン・レセルバの3段階の 表示。

ページ	訂正箇所のタイトル、見出し	訂正前	訂正後	備考
184	Study20-3 熟成規定／Fig.D.O.C.、D.O.ワインにおける最低熟成年数「白／ロゼ Crianza」の最低熟成年数	8カ月	18カ月	図の瓶熟期間のグレーの部分も1.5年のところまで延長。
184	Study20-3 熟成規定「Nobleノーブル」の熟成期間	12カ月以上熟成	18カ月以上熟成	
193	Study21-1 概要「ワイン生産量」	約750万hℓ	約730万hℓ	2009年版ソムリエ教本更新データ
193	Study21-1 概要「生産比率」	スティルワイン 約85% 赤、ロゼ 56.4%、白43.6% 酒精強化ワイン 約15%	スティルワイン 約88% 赤、ロゼ 61.6%、白34.8% 酒精強化ワイン 約12%	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
193	Study21-2 ポルトガルのワイン法／Fig階級制度「D.O.C.」備考	23地域 24D.O.C.	27地域	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
193	Study21-2 ポルトガルのワイン法／Fig階級制度「I.P.R.」備考	9地区(4地方) 1990年制定	4地域(2地方) 1990年制定	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年時点のデータ)
193	Study21-2 ポルトガルのワイン法／Fig階級制度「ヴィニョ・レジオナル」備考	8地域 1993年認定	10地域 1991年認定	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年時点のデータ)
193	Study21-2 ポルトガルのワイン法／Fig階級制度「EUのカテゴリー」下の階層	Vino de Mesa	Vins de Table	
204	22-3 スイス 主な留意すべきブドウ品種、白ブドウ「シャスラ」3行目	スイス白ブドウの70%を占める	スイス白ブドウの65%を占める	2009年版ソムリエ教本更新データ
204	22-3 スイス スイス・ロマンド フランス語圏／代表的産地／ヴァレー／代表ワイン「ドール」	ピノ・ノワールとガメイ80%以上	ピノ・ノワールとガメイ85%以上	2009年版ソムリエ教本更新データ
207	22-4 ギリシャ ワイン法／Fig.ギリシャの品質等級「オベ」備考2行目	品種はマスカットかマヴロダフネ主体。	品種はマスカットかマヴロダフネのみ。	
209	ギリシャ地図 2と3の地方名	2 イピロス(西部ギリシャ) Epiros 3 テッサリア Thessaly	2 テッサリア Thessaly 3 イピロス(西部ギリシャ) Epiros	★HPIに既掲出(2009年3月)
210	Study23-1 アメリカの概要 「年間生産量」	約2,000万hℓ 世界第4位	約2,300万hℓ 世界第4位	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
211	Study23-2 A.V.A. 解説文最終行	2007年9月現在、188カ所が認定されています	2008年5月現在、190カ所が認定されています	2009年版ソムリエ教本更新データ
212	Study23-4 アメリカの主なワイン産地と特徴 カリフォルニア州／栽培面積上位の品種／黒ブドウ2位と3位	2位メルロ 3位ジンファンデル	2位ジンファンデル 3位メルロ	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ) ※これ以外は変動ナシ
219	Study23-7 カナダの主な産地 解説文1行目	「……D.V.A.(特定栽培地域)が現在7カ所……」	「……D.V.A.(特定栽培地域)が現在9カ所……」	
221	Study24-1 オーストラリアの概要 「栽培面積」	約16万ha	約17万ha	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
221	Study24-1 オーストラリアの概要 「年間生産量」	約1,435万hℓ ワイン生産者大手14社が総生産量の73%以上を占める	約955万hℓ ワイン生産者大手13社が総生産量の73.7%を占める	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
221	Study24-1 オーストラリアの概要 「ブドウ品種」／白ブドウ	2位サルタナ 3位セミヨン	2位セミヨン 3位サルタナ	
222	Study24-3 主なワイン産地とその特徴 南オーストラリア州 解説文1行目	国内生産量の49.5%を産出	国内生産量の42.56%を産出	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
223	Study24-3 主なワイン産地とその特徴 ヴィクトリア州 解説文1行目	国内生産量の19.9%を産出	国内生産量の22.51%を産出	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
223	Study24-3 主なワイン産地とその特徴 ヴィクトリア州／代表的な産地「ジロング」解説文冒頭	「メルボルン北北西の海岸沿い」	「メルボルン南西の海岸沿い」	
223	Study24-3 主なワイン産地とその特徴 西オーストラリア州 解説文1行目	国内生産量の3.4%を産出	国内生産量の4.98%を産出	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
225	Study24-4 ニュージーランドの概要 「ブドウ栽培面積」	約2.3万ha	約2.5万ha	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
225	Study24-1 ニュージーランドの概要 「ワイン生産量」	約133万hℓ	約148万hℓ	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)

ページ	訂正箇所のタイトル、見出し	訂正前	訂正後	備考
225	Study24-1 ニュージーランドの概要 「主なブドウ品種」	1位ソーヴィニヨン・ブラン39% 2位ピノ・ノワール18% 3位シャルドネ17%	1位ソーヴィニヨン・ブラン <b>41%</b> 2位ピノ・ノワール18% 3位シャルドネ <b>15%</b>	2009年版ソムリエ教本更新データ(2007年のデータ)
227	Study25-1 チリ 「年間生産量」	約630万hL	約 <b>789万hL</b>	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
227	Study25-2 アルゼンチン 「年間生産量」	約1,550万hL	約 <b>1,520万hL</b>	2009年版ソムリエ教本更新データ(2005年のデータ)
243	Study26-3 税金関連 「関連データ」	日本人ひとり当たりの年間ワイン消費量／2006年 2.43L 全課税数量の中で、果実酒の占める割合／2006年 2.6%	日本人ひとり当たりの年間ワイン消費量／ <b>2007年 2.39L</b> 全課税数量の中で、果実酒の占める割合／ <b>2007年 2.5%</b>	2009年版ソムリエ教本更新データ
244	Study26-4 サービス Fig.推奨サービス温度	—	推奨温度が違っているものがありました。正しいチャートを下に添付します。	
270	Study29-3 食品保健 「食品添加物」解説文2行目	「……357品目」	「…… <b>388品目</b> 」	2009年版ソムリエ教本更新データ(平成20年10月現在のデータ)
270	Study29-4 食中毒 「細菌性食中毒の発生件数上位」3位	3位 腸炎ビブリオ	3位 ブドウ球菌	2009年版ソムリエ教本更新データ(平成19年のデータ)
282	世界のワイン法一覧／新世界 「アメリカ」の注釈(※印部分)最終行	「オレゴン州では……産地表示100%使用」	「オレゴン州では……産地表示 <b>95%</b> 以上使用」	
283	世界のワイン法一覧／新世界 「南アフリカ」の品種表示	75%以上	<b>85%</b> 以上	

P244 26-4 サービス/推奨サービス温度 チャート修正版



【本年度の出題範囲:ブルガリアについて】

日本ソムリエ協会から発表されている本年度の出題範囲に、出題実績が少なく、本書「30日間ワイン完全マスター2009」に記載がない「ブルガリア」が含まれていました。出題は2~3問と予想されます。ここに、「完全マスター」のチェック編に於いて、出題例とチェックすべきポイントとを記載します。ポイントとして挙がっている内容の詳細は、「日本ソムリエ協会 教本 2009」を参照してください。

<出題例>

●次のブルガリアワインに関する内容で、誤った記載をひとつ選びなさい。

- ① ブルガリアの気候は、温暖な大陸性気候と地中海性気候の境界に位置している。
- ② ブルガリア独自の品種は、黒ブドウのMisket(ミスケット)、白ブドウのGamza(ガムザ)などがある。
- ③ 1999年に制定されたワイン法で、特定地区で造られた上質ワインにあたるのは、GAOとGADOである。
- ④ 交配品種のRubin(ルビン)は、シラーとネッピオーロの交配によって作られた品種で、プロウティフとスウィットフ周辺で栽培されている。

【正解:②】

<ブルガリアのポイントチェック>

- ブルガリアワインの概略と歴史
- ラキアに関して
- おもなブドウ品種(とくに固有の古代ブドウや交配品種の特徴)
- 特定地区で造られた上質ワインのカテゴリー
- おもな産地の特徴